

環境省・オフセット・クレジット(J-VER)制度認証委員会 御中
(事務局: 気候変動対策認証センター)

平成 24年 4月16日

温室効果ガス排出削減・吸収量認証依頼書

オフセット・クレジット(J-VER)制度における検証が終了しましたので、利用約款記載のダブルカウントを回避するための措置を適切に執り行うことを誓約のうえ、下記の温室効果ガス排出削減・吸収量の認証を依頼いたします。

| | | | |
|---|---|----------------|---|
| プロジェクト名 | | | |
| 石川県 社会福祉法人あさひ会による水熱源式高効率ヒートポンプを利用した温室効果ガス排出削減・吸収クレジット創出支援事業 | | | |
| 【依頼者】 プロジェクト代表事業者 | | | |
| 事業者名(フリガナ) | 社会福祉法人あさひ会(シャカイクシホウジンアサヒカイ) | |  |
| 住所 | 石川県小松市安宅町ル1番地28 | | |
| 代表者氏名 | 森田 孝文 | 代表者役職 | |
| 担当者氏名 | 糠川 一英 | 担当者 所属部署・役職 | 特別養護老人ホームあたかの郷・事務長 |
| 担当者 E-mail | hasegawa@atakanosato.com | 担当者電話番号 | 0761-24-8705 |
| プロジェクト事業者・プロジェクト参加者 | | | |
| プロジェクト事業者名 | 社会福祉法人あさひ会 | | |
| プロジェクト参加者名 | 株式会社カナイワ | | |
| オフセット・クレジット(J-VER)取得予定者 | | | |
| 事業者名(フリガナ) | 社会福祉法人あさひ会(シャカイクシホウジンアサヒカイ) | | |
| | 以下のうち当てはまる項目に☑ <input checked="" type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト代表事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト事業者である。 <input type="checkbox"/> 本プロジェクトのプロジェクト参加者である。 | | |
| 妥当性確認・検証機関 | | | |
| 妥当性確認機関名 | ペリージョンソンレジストラー クリーンディベロップメントメカニズム株式会社 | | |
| 検証機関名 | 株式会社日本スマートエナジー | | |

| プロジェクト情報 | |
|-----------------------|--|
| プロジェクト登録番号 (4 ケタ) | 0135 |
| プロジェクト登録日 | 平成 23 年 6 月 30 日 |
| プロジェクト概要 ¹ | <p>(具体的な内容を簡潔に記載すること。)</p> <p>【プロジェクトの目的・内容】</p> <p>[目的]・灯油ボイラーから既存の井戸（地下水）利用型の地中熱を熱源とする全電気式の水冷式のヒートポンプシステムに置き換えることにより、CO₂排出量の低減とエネルギー消費量の低減を図ることを目的とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・既存の設備（井戸）の有効活用による省エネの促進。 <p>[内容]・給湯に係わるボイラー(定格熱出力 349kW)から地下水利用型の地中熱を熱源とする高効率ヒートポンプシステム(最大負荷 148kW)に置き換える。</p> <p>【適格性基準との整合性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・当事業所は北陸電力からの受電により電気を使用しており、敷地外への熱供給はない。 ・プロジェクト実施前は給湯用ボイラーのエネルギー源は化石燃料であり、実施後は水熱源式ヒートポンプで電力をエネルギー源とする。 <p>地下水を熱源とするヒートポンプであり、ヒートポンプにより空調と給湯を行うため、熱回収は行わない。</p> <p>設備投資金額と削減見込み金額における投資回収年数は 68.6 年であり、採算性が低いといえる。また、補助金を考慮した場合においても 45.7 年となり、採算性は低い。</p> <p>【法令遵守状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・特に該当しない <p>【採用技術】</p> <p>水熱源式高効率ヒートポンプ(ゼネラルヒートポンプ工業株式会社) COP:2.66</p> <p>【モニタリング方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・検定済電力計により把握 <p>【GHG 算定式の方法論への準拠性】</p> <p>全て準拠する</p> <p>【モニタリング体制】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データの入力・記録・測定（職員） ・データの確証・算定担当者（事務長） ・データの確証・算定責任者（施設長） |

¹ プロジェクト概要はプロジェクトの目的・内容の他、適格性基準との整合性・法令遵守状況・採用技術・モニタリング方法・GHG 算定式の方法論への準拠性・モニタリング体制・QA / QC 体制等に関することを3ページ以内で具体的に記述してください。登録時から変更がなければ登録時と同内容を、登録時から変更がある場合は相違点を具体的に記述してください。

| | | | | | | | |
|-------------------------|--|----------------|------|------|------|------|----|
| | <p>【QA / QC 体制】</p> <p>(1) 教育訓練 排出削減量算定責任者は、モニタリングや点検等の書類を保管する職員に対して、年 1 回程度、モニタリングの方法や効率的なヒートポンプの運転方法等について周知する。</p> <p>(2) 情報の保管 あたかの郷の職員がデータの入力・記録・測定をし、施設内にて保管をする。</p> <p>(3) データの確認 あたかの郷の事務長と職員は月 1 回のデータ確認を行う。</p> <p>(4) 内部監査 排出削減量算定責任者は年 1 回データの確認や整合性の監査を行う。</p> <p>(5) 測定機器の維持・管理 なし。(北陸電力が設置するメーターのため、北陸電力が維持・管理を行う。)</p> <p>(その他特筆すべき事項) なし。</p> | | | | | | |
| モニタリング結果概要 ² | <p><input type="checkbox"/> プロジェクト計画に基づきプロジェクトを実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> モニタリング計画書に基づきモニタリングを実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> モニタリング方法ガイドライン・方法論に準拠した GHG 算定を行った。</p> <p>(その他特筆すべき事項)</p> | | | | | | |
| 適用モニタリング方法 ガイドライン | <p align="center"><u>オフセット・クレジット(J-VER)制度モニタリング方法ガイドライン</u> (_____ プロジェクト用) ver. _____</p> | | | | | | |
| 適用方法論 | 方法論番号 | E 019 ver. 1.2 | | | | | |
| | 方法論名称 | ヒートポンプの導入 | | | | | |
| モニタリング結果 | | | | | | | |
| モニタリング期間 | 2011年 4月 1日～ 2011年11月30日 | | | | | | |
| モニタリング対象面積 | <p><方法論R001・R002・R003のみ> 方法論対象外のため、記入不要</p> | | | | | | |
| 排出削減・ 吸収量 | 年度 | 2008 | 2009 | 2010 | 2011 | 2012 | 合計 |
| | t-CO2 | | | | 9 | | 9 |
| 認証依頼削減・吸収量 | _____ 9 t-CO2 ³ | | | | | | |

² モニタリング概要は、モニタリング方法において特筆すべき事項があれば記入してください。

³ 合計の値から小数点以下を切り捨て、トン単位で記載してください。

| ダブルカウントの防止の措置 | |
|----------------------|--|
| ダブルカウントの防止の措置を講ずる事業者 | <p>【ダブルカウント防止措置を講ずる事業者名】</p> <p>プロジェクト代表事業者と同一</p> <p>事業者名: <u> 社会福祉法人あさひ会 </u></p> |
| ダブルカウントの防止措置内容 | <p>以下、該当する場合は、□に✓を入れ、必要に応じて詳細を記入してください。 (オフセット・クレジット(J-VER)制度実施規則 1.4「クレジットの二重使用」参照)</p> <p>【①類似制度に基づく二重認証に関するダブルカウントの防止措置】</p> <p>■ 類似制度へ申請しておらず、当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する温室効果ガス削減・吸収という環境に関わる付加価値(以下、「環境価値」という。)の認証を取得しません。</p> <p>□ 以下の類似制度(電力における RPS 法を含む)に申請しています</p> <p style="padding-left: 20px;">類似制度名: _____</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しておらず、今後も取得しません。</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得しているため、その分を控除いたします。</p> <p>□ 当該プロジェクトにおいて確保された削減量・吸収量については、オフセット・クレジット(J-VER)制度以外の制度によって、当該プロジェクトに付随する環境価値の認証を取得していますが、以下の理由によりダブルカウントが生じていないことを証明します。</p> <p style="padding-left: 20px;">理由: _____</p> <p>【②第三者に環境価値を移転する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p>■ 当該プロジェクトにより生み出されたエネルギー等(電気、バイオガス等)を第三者に売却する際に、その売却先に対して、環境に関わる付加価値はクレジット化されており、当該エネルギー等の価値には付随していないこと、及び、当該エネルギー等の価値の帰属先と、環境に関わる付加価値の帰属先が異なることを明示する「説明文書」を作成して、売却先に示します。</p> <p>□ 森林管理プロジェクトの場合、当該プロジェクトの対象となった森林を第三者に譲渡する際に、その譲渡先に対して、環境価値はクレジット化されており、当該森林には付随していないこと、及び、当該森林の所有権の帰属先と、環境価値の帰属先が異なることを明示する説明文書を作成して譲渡先に示します。あわせて、当該森林の譲渡の際には、オフセット・クレジット(J-VER)制度利用約款森林管理プロジェクト特約の内容にも十分に留意します。</p> <p>※ 第三者が、当該プロジェクトから生じる環境に関わる付加価値がオフセットクレジット(J-VER)として使用されていることを知らずに、当該付加価値を二重に主張することを防ぐ必要があるため、妥当性確認時において、これらの防止措置が講じられる体制にあること(上記の「説明文書」の作成等)を確認する必要がある。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>【③自主的な報告・公表を実施する際のダブルカウントの防止措置】</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の自主的な報告・公表媒体において、当該プロジェクトの内容、当該クレジットの発行量及び当該クレジット発行量のうち当事業者が無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)を明記します。</p> <p>あわせて、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジット量については、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> ホームページ ホームページ URL: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 出版物 (環境報告書/定期刊行物)</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p>■ 現在は、自主的な報告・公表を実施していないが、今後実施するにあたっては、当該プロジェクトにおいて発行されたクレジットについては、環境価値の帰属を主張しません。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)については除きます。</p> <p>【④公的な報告・公表制度におけるダブルカウントの防止措置】</p> <p>■ 公的な報告・公表制度には参加していません。</p> <p><input type="checkbox"/> 以下の公的な報告・公表制度に参加しています</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく算定・報告・公表制度の対象者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地球温暖化対策推進法に基づく地方公共団体実行計画(区域施策)の策定義務対象者(都道府県)である。</p> <p><input type="checkbox"/> 「排出量取引の国内統合市場の試行的実施」参加事業者である。</p> <p><input type="checkbox"/> 地方公共団体が実施する以下の制度の対象事業者である。</p> <p>制度名: _____</p> <p><input type="checkbox"/> その他 具体的に: _____</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量については排出量とみなし報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、当該報告・公表制度の報告様式における適切な備考欄に記載します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> <p><input type="checkbox"/> 当該報告・公表制度等において、当該プロジェクトにより発行されたクレジット量について報告する必要はないため、クレジット発行量については排出量とみなし、自主的な報告・公表値において報告します。ただし、当事業者による自らの為に無効化したクレジット量(環境価値を他者に譲渡していないもの)は除きます。</p> |
|--|---|

| ダブルカウント防止措置責任者 (プロジェクト代表事業者と同様の場合は記載不要) | | | |
|---|--|----------------|---|
| 事業者名 | | | 印 |
| 住所 | | | |
| 代表者氏名 | | 代表者役職 | |
| 担当者氏名 | | 担当者 所属部署・役職 | |
| 担当者 E-mail | | 担当者電話番号 | |
| 備考欄 | | | |
| | | | |

以 上